

## 介護職員実務者養成科(短時間)

訓練コース番号( 5-04-46-002-05-0063 ) 実践コース

訓練実施機関名 有限会社ウェルフェア

## ①「介護福祉士国家試験」の受験には、実務者研修修了が必須！

平成28年度の介護福祉士国家試験から受験資格として、実務経験3年に加えて実務者研修の修了が義務づけられました。

## ②サービス提供責任者になれる！

訪問介護事業所で必ず配置されるサービス提供責任者になるためには、実務者研修の修了か介護福祉士の資格が必要になります。

## ③たん吸引と経管栄養が学べる！

原則として医師や看護師以外に認められなかった、たん吸引や経管栄養の基礎知識を学ぶことができます。



## ●訓練内容

在宅介護や施設介護において、利用者の状態像に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。

## ○訓練目標

介護サービス事業所で即戦力として活躍できる人材育成を目指し、介護サービスの実践的な知識及び技術を習得する。

## ■訓練概要

訓練期間	令和5年2月21日～令和5年8月19日 *日曜 訓練休み(土曜・祝日一部開講あり)
訓練時間	9時15分～15時30分
訓練内容	座学(学科)・実技
自己負担額	受講料無料 *テキスト代 11,000円(税込) * 職場見学、実習先への交通費、健康診断にかかる費用は実費
定員	24名 * 定員に満たない場合は訓練を中止する可能性があります。
訓練対象者の条件	主として新型コロナウイルスの影響を受けてシフトが減少した方や休業を余儀なくされている方など、在職中で訓練時間に配慮が必要な方
取得資格	介護福祉士実務者研修 修了者

## ■募集要項

募集期間	令和4年12月21日～令和5年1月27日
申込方法	令和5年1月27日までに最寄りハローワークで職業相談手続き後、受講申込書および写真(3×4cm)を有限会社ウェルフェアへ提出。郵送の場合は1/27必着。持参の場合は17時まで。
選考日時	令和5年2月6日
選考会場(訓練実施場所)	有限会社ウェルフェア
選考方法	筆記試験及び面接
持参物	筆記用具(鉛筆、消しゴム)
選考結果通知日	令和5年2月9日

## 選考会場・訓練実施場所



※ 二中通電停から徒歩 3分  
 駐車場なし。駐輪場あり(台数限りがあるため要相談)

## 新型コロナウイルス感染症防止対策

- ・入室前の体調確認
- ・消毒液の設置
- ・マスクの着用
- ・間隔を確保した座席の配置
- ・毎日、訓練終了後に消毒の実施

## お問い合わせ先

有限会社ウェルフェア

〒890-0056

鹿児島県鹿児島市下荒田1-8-11 松久保ビル3F

TEL:099-286-0702

担当: 島子・峯崎

受付時間【8:30～17:30 月～金】



『詳細は最寄りのハローワーク  
 までお問い合わせください。』

### 訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 有限会社ウェルフェア

訓練概要		・介護福祉士実務者研修を修了し、高齢者介護従事者として必要な専門的な知識・技術・こころ、職業倫理と態度を身につけます。 ・将来介護福祉士の国家資格を目指す上での意欲や専門性についても習得し、即戦力となる人材を育成します。 【短時間】【職場見学等推進】							
科目		科目の内容			訓練時間				
学科	就職支援	ジョブカードの作成支援、就職活動の進め方、履歴書・職務経歴書の書き方、面接技法			10時間				
	介護職務の理解	安全衛生、多様なサービスの理解、介護職の仕事理解や働く現場の理解			5時間				
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と尊厳・自律の支援・人権と尊厳			5時間				
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的・基礎的理解・専門職の役割			5時間				
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉・地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援制度・介護実践にかかわる諸制度			30時間				
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理			10時間				
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護従事者の安全			20時間				
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、コミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション			20時間				
	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔の生活支援技術の基本、家事援助の基本			20時間				
	発達と老化の理解Ⅰ	こころの変化と日常生活への影響・からだの変化と日常生活への影響			10時間				
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等			20時間				
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本			10時間				
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人への支援の実際			20時間				
	障害の理解Ⅰ	障害福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本			10時間				
	障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際			20時間				
	こころとからだのしくみⅠ	移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠に関連するからだのしくみ			20時間				
	介護過程Ⅰ	介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ			20時間				
	介護過程Ⅱ	介護職による介護過程の展開・実践的展開・施設、在宅で暮らす高齢者の介護過程、演習課題)介護老人福祉施設で生活する事例			25時間				
	介護過程Ⅲ	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援			15時間				
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎(安全な実施、関連する法制度や倫理、感染予防・安全管理体制)			50時間				
	実習事前事後講習	講義で学んだ内容を実習で活用するための注意事項、実習で体験した内容を報告			10時間				
	実技	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、居住環境の整備			30時間			
		介護過程Ⅲ	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援			30時間			
こころとからだのしくみⅡ		人間の心理・人体の機能と構造、移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠・人生の最終段階のケアにおける観察のポイント			60時間				
医療的ケア演習		医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)、喀痰吸引演習(口腔・鼻腔・気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃瘻、腸瘻、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習			30時間				
介護記録の書き方		計画書や報告書の書き方、ケアプラン等・利用票・提供票の意味			10時間				
振り返り		講義で学んだ知識及び技術の振り返り・修了評価			15時間				
企業実習		実施しない	<input checked="" type="checkbox"/>	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	25時間			
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	実施日	令和5年3月23日	内容:介護職に求められる接遇	5時間				
	【職業人講話】	実施日	令和5年8月17日	内容:高齢化社会と地域包括ケア	5時間				
	【職場見学】	通所系サービス・訪問系サービス・施設系サービスの現場見学 事業所:プライアンス御召覧、ヘルパーステーションよしの、デイサービス笑顔、グループホームよしの村、南洲の社、ヘルパーステーションかんまち 実施日:令和5年5月19日			5時間				
訓練時間総合計	570時間	学科	355時間	実技	175時間	企業実習	25時間	職場見学等	15時間
受講者の負担する費用	教科書代	11,000円			合計	11,000円			
	その他( )	0円							
	備考( )	職場見学・企業実習先への交通費及び健康診断にかかる費用は実費							